



金城学院幼稚園

No. 14



運動会が終わって一ヶ月が過ぎました。特に年長児の姿からは多くの刺激を受けたようです。見よう見まねで側転にチャレンジする子ども達がいいます。それを見て「手は真っ直ぐにして…」 「あと少し足が上がると完璧！」などの確なアドバイスを年長児がしてくれます。その声に答えるように繰り返しチャレンジし、側転がほぼ出来るようになっていきます。また年長児もそんな姿から刺激を受け、『連続技』と称して側転や前回りを組み合わせ、連続で出来るようになることを目標に再チャレンジしています。

先日、こんなことがありました。

年少児が数人、輪になって何やら言い合っています。仲裁のように話に割って入っている年中児もいました。その横を通り過ぎながら、チラッと様子を見て、年長児が一言「何か揉めてるね。でも。まあ大丈夫か」と。この年長児の一言に（はっ）としました。この数ヶ月一緒に過ごしてきたなかで、任せて大丈夫と信頼しているからの一言と嬉しくなりました。

子ども達の姿から、一緒に生活する中で育ちあっていることを教えられる毎日です。神さまから頂いている賜物（能力）を生かし過ごしている子ども達は、一人ひとりに与えられている賜物が違うことを知り、励まし、支え合って過ごすなかで「一人ひとり、違うから素敵なんだ、おもしろいんだ」と共に生きる力を更に育てていくことでしょう。

さて、幼稚園ではクリスマスの準備が始まりました。約一ヶ月をかけて、クリスマスを迎える心の準備をしていきます。「神さまは、私たちのためにイエス・キリストをお与え下さいました。ありがとう」とその恵みに感謝し、礼拝を守っていきます。おうちの方々も共に準備を進めてくださると嬉しいです。

（まさえ )



## クリスマスを迎えるにあたって

今から2000年前、ユダヤの国ベツレヘムの馬小屋でイエス様はお生まれになりました。世界で初めてのクリスマスは貧しい馬小屋で、ヨセフとマリアと家畜たちに囲まれた静かなものでした。そのイエス様は、今も生きて私たちと共にいて下さいます。神様は私たちのために、イエス・キリストをお与えになったのです。

**神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。  
独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。**

ヨハネによる福音書 3章16節

クリスマスを迎えるにあたって、クリスマスの本当の意味（本当の喜び）を子ども達と保護者の方々と共に少しずつ知っていくことが出来るようにと願っています。

こどもニュースでは、子ども達の様子をお伝えすると同時に、クリスマスに関する事柄も載せていこうと考えています。（へえ、そんな意味があったんだ）と知ること、今までは少し違うクリスマスを家庭でも迎えていただけたらと思います。

幼稚園で迎えるクリスマスは、アドベント（待降節）という時を過ごし、クリスマス讃美礼拝、クリスマス親子礼拝を共に守ります。

### \*アドベント\*

ラテン語で『来る』という意味です。教会では『待降節』という言葉を使うこともあります。つまり『クリスマスが来るのを待つ期間』で、12月25日以前の4回の日曜日の期間を指します。

幼稚園では、この期間に様々な事柄を通して、クリスマスの本当の意味を知り「私のところにもクリスマスの喜びが届きますように」と祈りつつ準備をしながら楽しみにクリスマスを待つ時としています。

### ◆アドベント礼拝◆

教会では4回の日曜日を指しますが、幼稚園ではクリスマス讃美礼拝以前の水曜日の礼拝を指します。アドベント礼拝では、クランツ(葉の環状の編み物)を飾り、その口ウソクに毎週一本ずつ火を灯していきます。そして4本すべての口ウソクに火を灯す時が、クリスマス讃美礼拝になります。

アドベント	I	11月28日
	II	12月 5日
	III	12月12日
	IV	12月18日 (讃美礼拝)



保護者の方もどうぞ、子ども達の礼拝にご出席下さい。同時に、聖書を読む会にもご参加いただき、クリスマスの心の準備をしていただけたら嬉しく思います。

## \*にじ組 クリスマス礼拝\*



12月17日(月) 10:45~11:15

にじ組のクラスで行います。(詳細は後日)

聖書に基づいてイエス様の誕生を再現します。クリスマスの意味を感じながら、共に賛美の礼拝を捧げましょう。クリスマスブックをお持ちください。

## \*クリスマス讚美礼拝\*



12月18日(火) 9:00~11:45

讚美礼拝

遊戯室にて、全親子で行います。

(にじ組保護者の方もどうぞご参加ください)

あつまり

各クラスに分かれ、楽しい時を過ごします。

### ◆讚美礼拝◆

讚美礼拝とは、聖書に基づいてイエス様の誕生の歴史を再現し、クリスマスの意味を感じて、神様に感謝の礼拝をすることです。つまり劇をする・劇を見るという気持ちではなく、イエス様を中心としてみんなで礼拝を守るものです。

この礼拝では、遊戯室をイエス様がお生まれになった馬小屋とし、イエス様を中心に子ども達が座ります。保護者の皆さんからは子ども達の姿が見えるとは限りませんが、共に賛美し、祈る中で心をつにしていきたいと思います。子どもの横顔から、後ろ姿から、セリフを言う声から、讚美する歌声や演奏から・・・そして何と言ってもそこに集う一人一人の気持ちから、クリスマスの喜びを分かち合えたらと思います。

子ども達が、イエス様の誕生を真剣に再現する姿から大きな感動が与えられます。そこに神様の存在も感じます。「劇」としてではなく、『礼拝』として神様を賛美するからこそ、素晴らしい神様の栄光が、子ども達の姿を通して現れるのだと思います。

付録：『クリスマスページェント』という言葉聞いたことがあるのではないのでしょうか  
ページェントとは、歴史的な場面を舞台で見せる野外劇のことで、特にクリスマス生誕劇のことを言います。新約聖書の福音書に記されたイエス・キリストの誕生にまつわる様々なエピソードを象徴的な形式の劇にまとめたものです。

### ◆あつまり◆

日頃から、クラスで歌っている歌や手遊びを一緒に楽しみましょう。子ども達は、家族のことを思い、作ったプレゼントをお渡しします。お楽しみに・・・

クリスマスは、神様が独り子イエス様を私たちのために下さったことを心から感謝し、喜び祝う日です。そのことが、神様からの最大の贈り物なのです。幼稚園では、子ども達が大好きな方々と喜びを分かち合うことを目的としてプレゼントを作り、贈ります。送る喜び、捧げる喜びを経験できますようにと願っています。

## \*クリスマス親子礼拝\*

12月22日(土) 13:00~15:15

その後、キャロリング (年長児は16:00頃終了)  
大学アニー・ランドルフ記念講堂にて

### ◆親子礼拝◆

いつもとは違う場所で、卒園生も交えて礼拝をします。キャンドルサービスやパイプオルガンの奏楽で歌う讃美歌などを通し、厳かで心静かな時をお過ごし下さい。

ご家族、ご近所の方々、卒園児の方々もお誘い下さい。

### ◆ミニコンサート◆

小さな子どもを連れてコンサートに行くのが難しいと感じることがあると思います。そこで、幼稚園のみんなも楽しめるコンサートを企画しました。ハンドベルや合唱、時には管弦楽など、毎年違う音楽に触れていきます。

今年は金城学院高校ハンドベルクワイアによるコンサートです。

### ◆キャロリング◆

キャロリングとは、クリスマスキャロルを通して、クリスマスの喜びを多くの方に伝えることです。年長児によるキャロリングを行います。大森・金城学院前駅で行う予定です。

